

伝統を情熱で紡ぐ^{つむ}

山形商工会議所青年部

第34代会長 須藤雅人氏



2023年度山形商工会議所青年部第34代会長を拝命いたしました。青年部入会7年目と会員歴の浅い会長ではありますが、全力で会長職を務めてまいります。

本年度、山形商工会議所青年

部（以下「山形YEG」）は全98名の会員でのスタートとなります。9月17日の「山形名物第35回日本一の芋煮会フェスティバル」を筆頭、8月の「やまがた花笠食フェスタ」、1月の初市での納豆汁振る舞いや、ぬいぐるみショー、そのほか一般公開例会など毎月例会事業を行い、会員相互の交流と自己研鑽に務めるとともに、愛する山形地域を大いに盛り上げていきたいと思っております。また、友好YEGである新潟県村上YEGとの交流事業等を通じて、地域の枠を越えた活動を行ってまいります。

1983年4月に設立された山形YEGは、本年度、40周年の節目の年となりました。この40年間の間、青年部は日本一の芋煮会フェスティバルの開催、全国会員大会の招致、日本一の大鍋

「鍋太郎」の製作、第30回日本一の芋煮会フェスティバルでのギネス世界新記録の達成（8時間で最も多く提供されたスープ）など、様々な挑戦を重ね、山形地域を大いに盛り上げてきました。

とりわけ「日本一の大鍋を作って芋煮会を開催しよう」「山形の芋煮会文化を全国にPRしよう」との想いで始めた「日本一の芋煮会フェスティバル」は、いまや毎年恒例の全国ニュースになる食の一大イベントとなり、山形の芋煮会文化を大いに全国にPRしております。そして、山形風の牛肉醤油味芋煮は、「山形芋煮」として、文化庁の選定する「100年フード有識者特別賞」に選ばれるなど、全国に通用する山形ブランドとなっております。

近年も青年部は挑戦し続けています。令和2年、日本中が新型コロナによる自粛ムード一色の中で開催したドライブスルー形式の芋煮会「ドライブスルーで芋に恋して」は、山形市民の芋煮愛を全国に強くとどろかせましたし、昨年は十分な感染症対策を講じた上で3年ぶりに大鍋を使ったフェスティバルを開催しました。

40周年を迎える今年度、本年度青年部スローガンを「紡ぐ^{つむ}～伝統、情熱、挑み続ける山形YEG」と決めました。あらためて40年間の挑戦の歴史と挑み続ける姿勢を振り返り、次世代へと紡いでいく年としよう、そして青年部が山形地域をこれからも元気づけていく礎となる年にしようとの想いを込めております。

最後になりますが、今年の芋煮会フェスティバルは、4年ぶりの制限なしでの通常開催となります。安心安全に十分に配慮し、山形の秋、美しい自然、おいしい食べ物を存分に味わっていただきたいと思っております。「参加して楽しいフェスティバル」です。当日はぜひ会場に足をお運びください。

（税理士法人須藤会計事務所所長）